

「キリスト教推薦」

私は、少し涼しい中窓を開けて外の音を聞きながら寝ることが好きです。だから、毎年この季節には風邪をひき、体調を崩しています。体調は十分気を付けてくださいね(笑)

私の家は父、母ともにクリスチャンでした。そのため0歳のころから教会に連れて行かれていたそうです。小学生になり子供たちの行く教会学校に通うようになりましたが、先生のお話は聞きませんしお祈りも全くしていませんでした。その後中学生になって教会学校中は静かにしなくてはならないという雰囲気を理解できるようになった私は、教会学校中はおとなしく寝ていることにしました。とにかく、教会学校の時間は退屈だった記憶があります。

高校2年になってキリスト教推薦について知りました。受験資格に、評定のほかに、洗礼をうけること(=受洗)つまりキリスト教になっておくことでした。私の中で気持ちは固まっていませんでしたが、推薦のために受洗しようと思いました。受洗動機が不純なのでもちろん反対されました。しかし、受洗はスタートでありこれからもっと神様を知っていけばよいと言われ、その時は納得しませんがしく受洗しました。でも、その後もキリスト教に対し迷いが少しありました。

高校3年生になり試験の日が近づいてきました。そこで、当時たまたま政治経済に興味があり、経済学部を志望にしたことがうまくはたらきました。偶然、経済学部のキリスト教推薦の筆記論述テストは、毎年聖書の中からの出題でした。そのため、試験当日までたくさん聖書を読みました。すると、今まで漠然と礼拝や教会学校で聞いていたことがうまくつながっていきました。その時初めて、本当に神様に触れた気がしました。

推薦で青山学院に入っていなければ、神様につながれずもっと離れていってしまったかもしれないと思います。キリスト教推薦で入っていなければ、ACFにも入っていなかったと思います。初めは不真面目で楽になりたいがために、キリスト教推薦を選びそのために洗礼を受けました。ですが、最終的に今はACFの人々に会えて、日々神様についてふれることができうれしく思えます。全てが神様の導きであり、良いクリスチャンの方々の影響を受けて、これからもっと神様を賛美し、感謝し、少しでも恩返しができたらいいなと思います。